


活動名	鶏釜飯（とりかまめし）				
概要	○野菜を切り、かまどで薪を焚いて鶏釜飯をつくる。 ○インスタントみそ汁、ゼリーが付く。				
ねらい	○野外炊飯の基本的な知識を身につける。 ○班で仕事の分担を決め、協力して作業を進める。				
関連教科等	家庭・理科・社会・総合				
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行う				
時期	通年	時間帯	昼・夕	対象	低学年～
場所	第1炊飯場 第2炊飯場	人数	7人～ 班編成12班以内 (7人～14人/1グループ)	所要時間	2.5～3時間
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの	
	食材一式、炊飯用具一式、割木、運搬用リヤカー等			軍手、タオル	
進め方・展開例					
	内容			留意点	
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・班の数、役割分担、活動の進め方 ・食材、ランプの灯の運搬について			○職員の指導が活動の説明のみの場合は、説明後の進め方、片づけ方を確認する。	
活動の説明	○各班で仕事の分担を決める。 (かまど係、やさい・ごはん係) ○食材の搬入、及び食器の数を確認する。 ○係別に活動開始する。			○食材を運ぶ人数は各班1～2人。 ○用具やかまどの使い方等を説明する。 ○説明の間に食材分配作業をする。 ○包丁は指導者が配布、回収する。	
展開	○かまどを準備する作業。かまどで火をおこす。 ○米を研ぎ水に水に浸す作業。 30分水に浸す。 ○野菜・肉の下準備の作業。 ○羽釜に具材・だし・水を入れて炊く作業。 最初強火で炊き、沸騰したらふたを取り混ぜる。 その後、割り木を移しごく弱火で20分炊く。 炊けたら30分蒸らす。 ○食事。 ○片づけ。 ・羽釜を亀の子タワシで水洗いする。 ・数をそろえる。 ・かまどを掃除する。 ・炊飯場を掃除する。 ・食堂の用具は食堂に返納する。			○必ず指導者がつく。 ○焚き付けは周辺の枯れ葉、枯れ枝でもよい。 ○別にインスタントみそ汁用の湯をやかんで沸かす。(人数×150ml+α、クレンザー液を塗る) ○包丁は数を確認する。 (使い終わった時点で早めに片づける) ○水は人数×150ml。だしは人数×15ml。 ○強火を続けると焦げやすいので注意。 ○デザートとしてゼリーを配る。 ○中身がないことを確認してから洗う。 ○用具一式は点検表で確認し返納する。	
まとめ	○活動を振り返りながら、楽しく食事をする。 ○難しかったところ、工夫したところ、感想などを発表する。				
評価	○野外炊飯の基本的な知識を身につけることができたか。 ○班で分担を決め積極的に協力し、楽しく意欲的に活動ができたか。 ○炊飯活動を通して先人の知恵と技術を学ぶことができたか。 ○注意事項等を、しっかり聞いて守ることができたか。				
発展	○石やブロックを使い、自分たちでかまどづくりから始めることも生きた体験となる。 (耐火レンガを使ったかまどづくりは第2炊飯場で体験できる。)				

鶏釜飯の片づけについて

第1炊飯場

はじめに

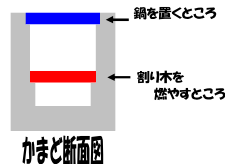
- * 残飯はそのままポリバケツへ捨てる
それ以外のゴミも全てポリバケツへ入れる
- * 食堂から持ってきたかごやバットなどは食堂に返す
- * 【はがま】、【食器類】、【かまど】の片づけをする
(片づけについては各カード参照)
- * 終わったらテーブルの周りの掃除や、
他の片づけの手伝いをする



連絡は
事務室：内線65

かまどの片づけ

- * 必ず軍手か皮手袋をして掃除する
- * うちわや皮手袋は左側のシャッターの最下段に片付ける
- * 右図の青と赤の火格子を起こして、
十能や砂場の横のホウキを使って灰を掃除する
じゅうのう
- * 火格子は重くて熱いので注意
- * 燃えカスなどは、水を入れた指定のバケツへ
じゅうのう
- * 十能や火ばさみは1番のかまどの裏に片付ける



食器類の片づけ

どんぶり

はし・コップ

その他

台拭きがおいである側の洗い場を使う

しゃもじ、ポウル、ざる、バット、
やかん、はがまのふた

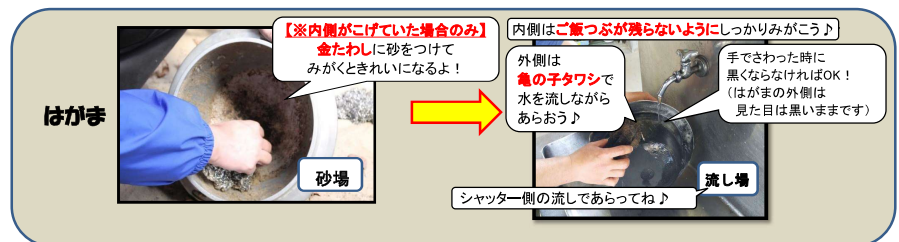
洗剤で洗い、食器ふきで水分をふきとる

食器をそれぞれもとあった場所にもどす

大人のチェック後、棚に片づける

はがまの片づけ

- ①はじめに、はがまの**内側**を
次に、**外側**をきれいにする！



大人のチェックを受けて、OKがでたら、もとあった場所にかたづける

※次に使う団体のため、どうかよろしくお願いします